

浅間山の「融雪型火山泥流」を確認しましょう

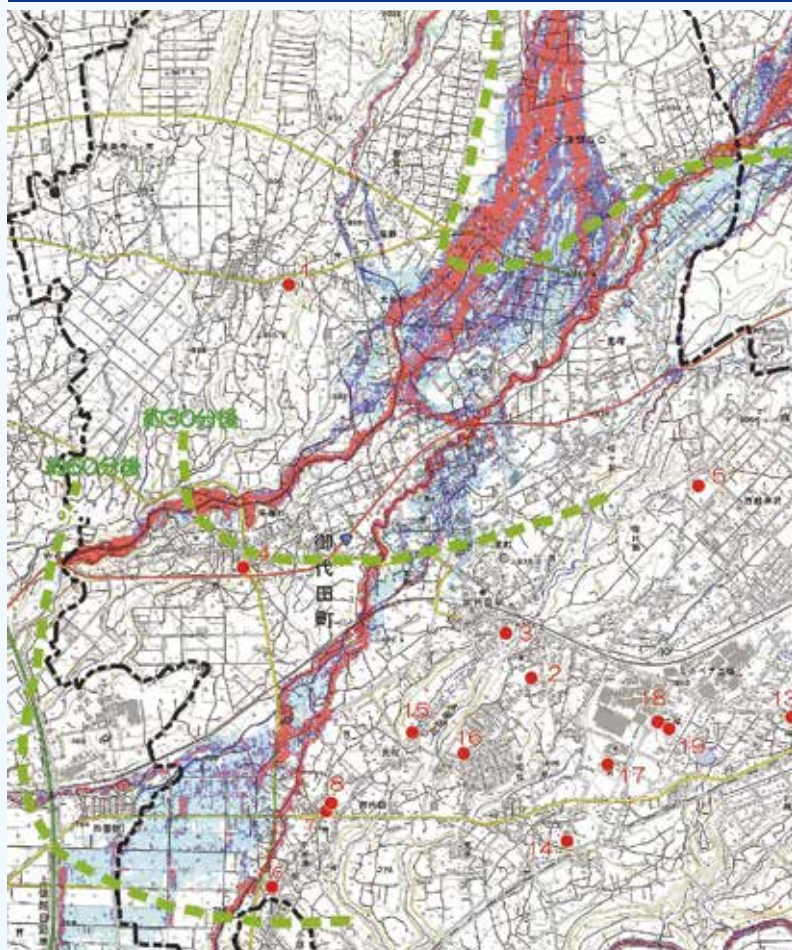
問い合わせ先 総務課情報防災係 (32) 3111

浅間山は噴火警戒レベル1(「活火山であることに留意」)ですが、改めて、積雪期に注意すべき融雪型火山泥流について知識を身につけ、万が一に備えましょう。

「融雪型火山泥流」とは、山頂に雪が積もっている時期に、噴火で高温の火砕流などが発生すると、その熱によって火口周辺の雪が解け、渓流沿いの土砂や樹木と一緒に泥流となって斜面を高速で流れ下る現象です。融雪型火山泥流は発生すると約15分以内で居住区域内にまで到達すると想定されています。そのため、町からの情報伝達前に融雪型火山泥流が到達する可能性もあります。

融雪型火山泥流の範囲内やその周辺に暮らす皆さまは、噴火を察知した際は、自らの判断により、早めに避難してください。

町内の融雪型火山泥流の影響範囲(浅間山火山防災マップより)



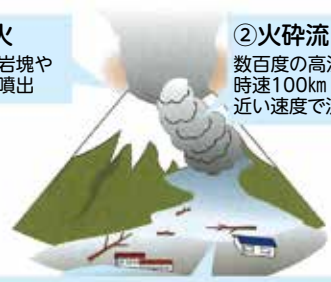
詳細は、昨年全戸配布した「浅間山火山防災マップ」に掲載しています。被害が及ぶ範囲の確認や、火山現象に関する情報を確認いただき避難の参考にしてください。「浅間山火山防災マップ」がお手元ない場合は、総務課情報防災係(14番窓口)までお越しください。

①噴火

高温の岩塊や軽石が噴出

②火砕流

数百度の高温
時速100km
近い速度で流走



③融雪型火山泥流

雪がとけて土砂等と一緒に時速60km近い速度で流下

融雪型火山泥流のイメージ

【避難に関する心得】

- 危険箇所を通らず谷から離れ、近くの高台等へ避難する。
- 屋外に泥流が到達している場合またはすぐそばまで迫っている場合は、屋外には出ず建物の2階以上に避難する。
- 近くに高台等高所がない場合は、泥流に耐えうる丈夫な建物の高いところ(2階以上)に避難する。

国による対策工事の様子



舟ヶ沢東

濁川

噴火後の土石流や融雪型火山泥流に備えるため、国土交通省の浅間山火山噴火緊急減災対策事業により、町に関連する箇所でも工事が進んでいます。



(広告欄)

モデルハウス見学 随時受付中

見学をご希望の方は、こちらからご予約ください

お問合わせは今すぐ
0120-33-4152

メールの方は vip@oot-kensetsu.co.jp

大井建設工業株式会社
子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
■本社 御代田町馬瀬口1670-74 TEL0267-330333(代) (ISO 9001) 認定取得



信州大学との共同研究で誕生
女性設計士がママ目線で考えた

家事楽の家



住んでから一番重要なのは住みやすさです。「女性」であり「ママ」であり「主婦」だからその視点と細やかな気配りをもって、暮らしの要である女性が笑顔で暮らせるデザインをご提案いたします。
欲しいオプションがたっぷり詰まった家をぜひご体感ください!



御代田町の情報を
放送しています

●FM軽井沢 (77.5MHz)

[月～金曜日] 8:15～/12:50～/17:50～
[土曜日] 10:10～ [日曜日] 9:40～



●西軽井沢ケーブルテレビ
[火～日曜日] 19:05ころ～

